



2020年5月13日（証券コード：7037）
株式会社テノ、ホールディングス

2020年12月期第1四半期
決算補足説明資料

teno
HOLDINGS

「テノ。」の由来

もっと愛情を・・・

もっと安心を・・・

「手の」ぬくもりまでも伝えたい

経営理念



私たちは、女性のライフステージを応援します。

私たちは、相手の立場に立って考えます。

私たちは、コンプライアンスを推進します。

私たちは、事業を通して社会貢献致します。



I. 2020年12月期 第1四半期 決算概要

II. 2020年12月期 通期業績の見通しについて

III. 長期ビジョンと会社概要他

「手の」ぬくもりまでも伝えたい

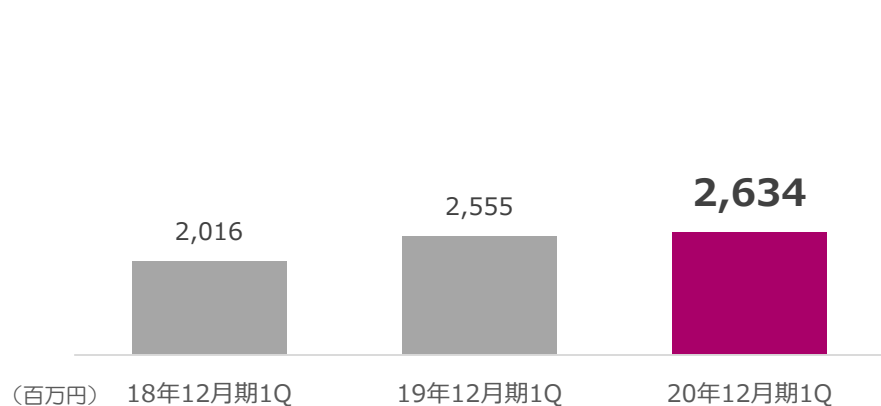
I. 2020年12月期 第1 四半期 決算概要

2020年12月期 第1四半期 業績サマリー

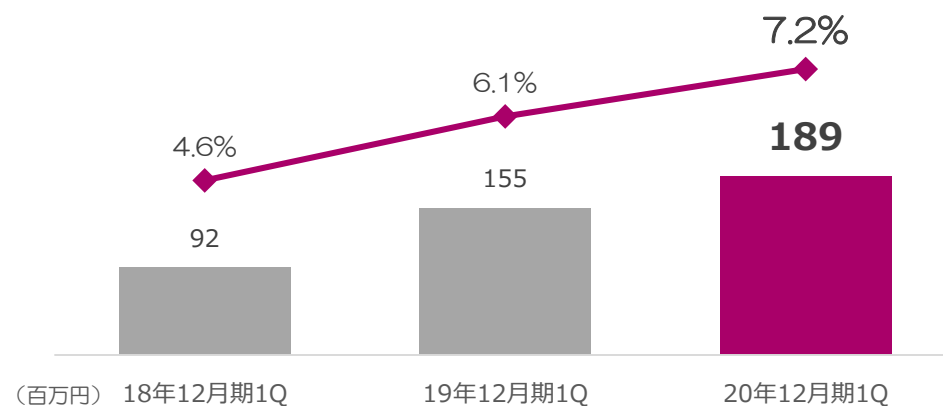
■ 増収増益にて推移（過去最高を更新）。予算進捗率も順調。

(単位：百万円)	19年12月期 第1四半期	20年12月期 第1四半期	増減額	増減率	20年12月期 (予算進捗)
売上高	2,555	2,634	+79	3.1%	24.5%
営業利益	155	189	+33	21.8%	40.1%
経常利益	149	186	+37	24.8%	41.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	97	118	+20	20.8%	41.1%

売上高



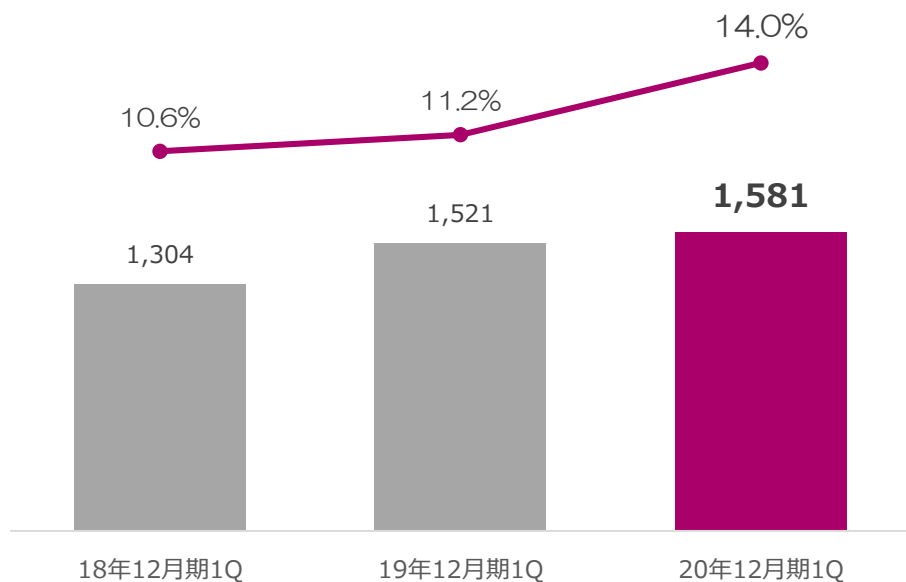
営業利益／率



セグメント別【公的保育事業】

(単位：百万円)	18年12月期 第1四半期	19年12月期 第1四半期	20年12月期 第1四半期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	1,304	1,521	1,581	+59	3.9%
セグメント利益	137	170	220	+50	29.7%
同利益率	10.6%	11.2%	14.0%	—	—

売上高／営業利益率



<ポイント>

- 過年度（主に2018年、2019年）に開設した施設の充足率拡大、職員充足に応じた自治体独自加算補助金の確保並びに働き方改善が増収増益に貢献。
- 1Qに支出した2020年4月新規開設の認可保育所2施設分の費用は、約21百万円（計画通り）。
- 堅調に推移。1Qにおいて、過去最高益を確保。

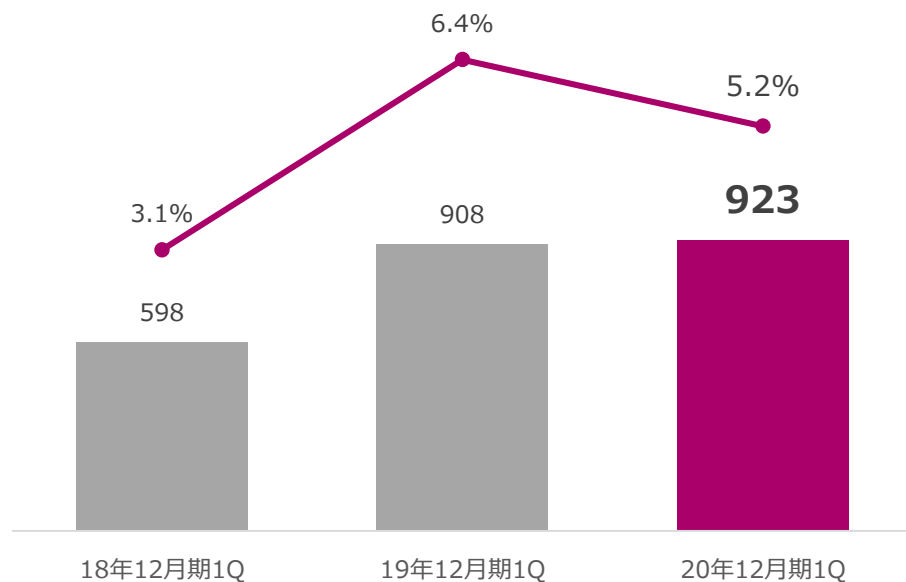
<トピック>

- 2020年3月末に、不採算であった認証保育所1施設の運営を終了。収益改善に向かう見込み。

セグメント別【受託保育事業】

(単位：百万円)	18年12月期 第1四半期	19年12月期 第1四半期	20年12月期 第1四半期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	598	908	923	+14	1.6%
セグメント利益	18	57	48	△9	△16.9%
同利益率	3.1%	6.4%	5.2%	—	—

売上高／営業利益率



<ポイント>

- 運営施設数は、197施設から202施設へ増加（学童保育所、わいわい広場）。増収に貢献。
- 2019年12月期（特に下期以降）の運営体制面強化のために、本社本部社員を増員。販管費における人件費負担が増加。減益の一因となった。
- 収益改善のため、委託単価見直しに継続して注力。

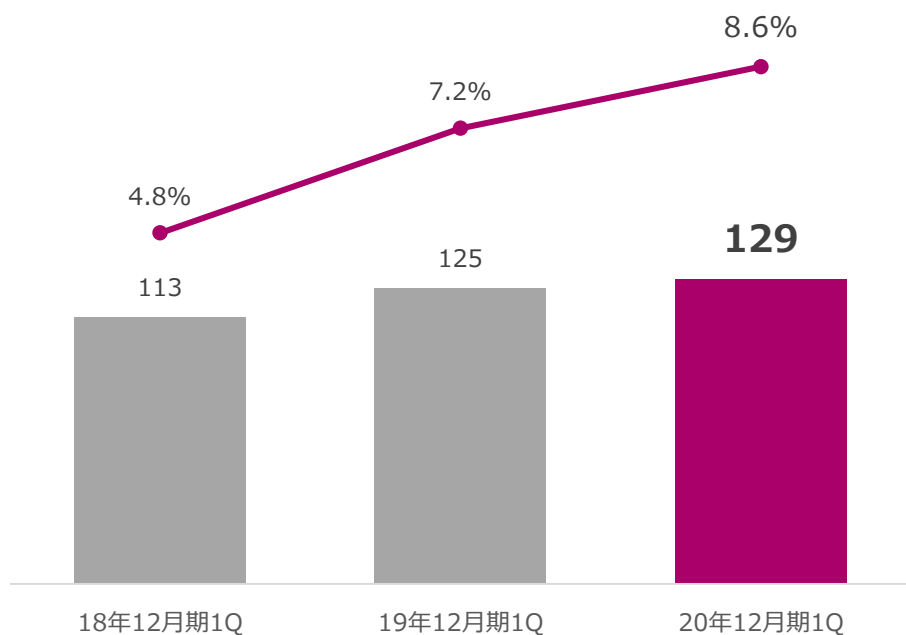
<トピック>

- 1Qに、新規に1施設（事業所内）の運営を開始。
- 2020年3月末に、委託期間満了等により受託保育所4施設の運営を終了。
- 2020年4月より、春日市学童保育所18施設の運営を開始。

セグメント別【その他】

(単位：百万円)	18年12月期 第1四半期	19年12月期 第1四半期	20年12月期 第1四半期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	113	125	129	+4	3.5%
セグメント利益	5	9	11	+2	23.9%
同利益率	4.7%	7.1%	8.5%	—	—

売上高／営業利益率



<ポイント>

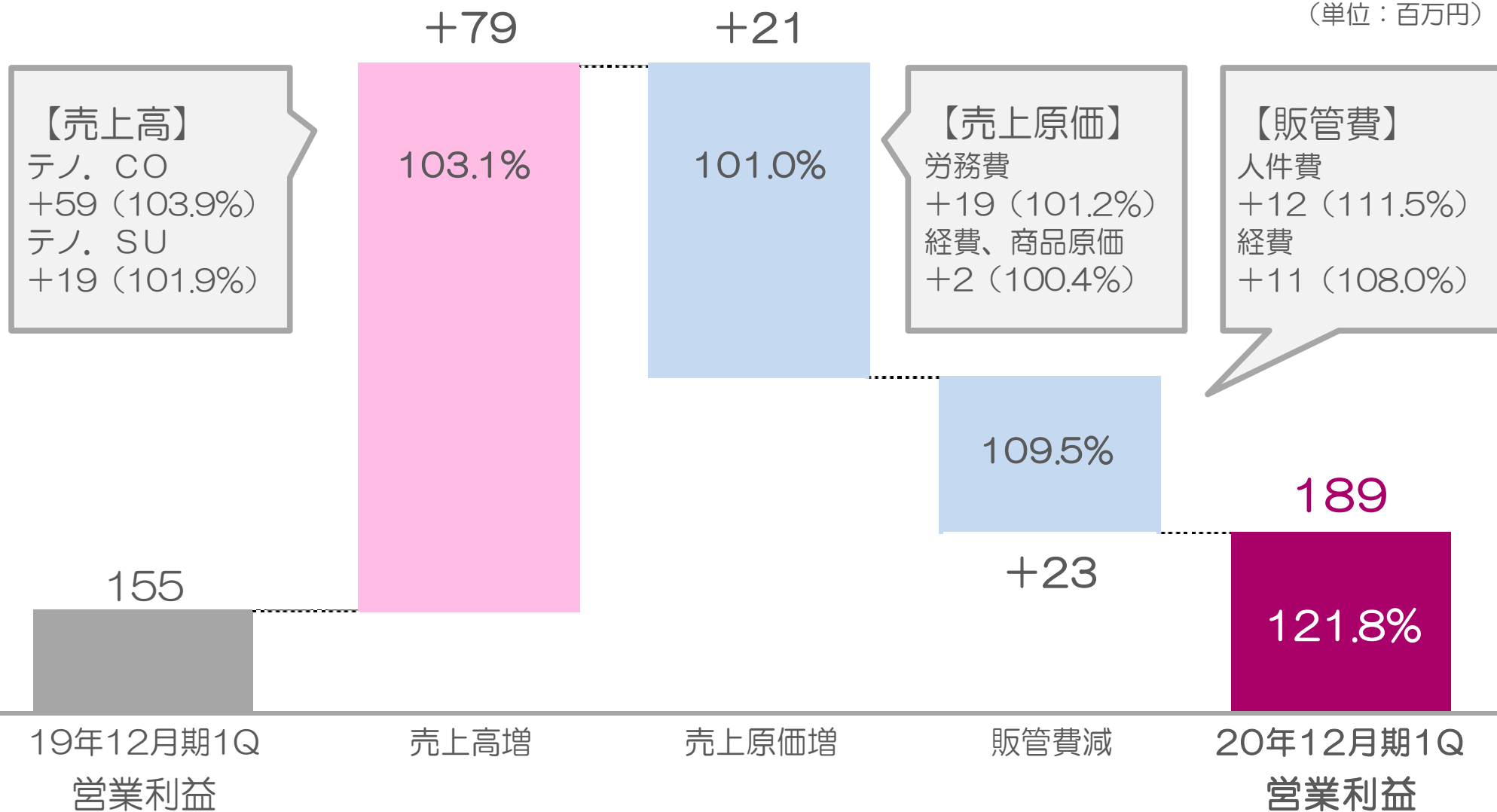
- 2020年3月、新規事業として介護事業（デイサービス）の運営を開始。当社内における当該事業のノウハウ構築に注力。
- 過年度（主に2018年、2019年）に開設した直営保育施設の充足率拡大により、増収に貢献。
- 増収増益にて推移したが、成長に向け各部門注力。

<トピック>


- 2020年3月末に、不採算であった認可外保育所1施設の運営を終了。収益改善に向かう見込み。

営業利益増減要因（対前年同期比）

（単位：百万円）



*) 営業利益は、セグメント利益から全社費用を控除した連結ベースの数値。



「手の」ぬくもりまでも伝えたい

Ⅱ. 2020年12月期 **teno** 通期業績の見通しについて

※COVID-19に対する当社の対応について

<運営施設>

- ・施設職員の出勤前の検温。厚生労働省から周知されている指針を基に、37.5℃以上の発熱がある場合は、出勤しないことを徹底。また、手洗い・うがい・手指消毒を実施。施設内の清掃と消毒を強化し、こまめな換気を実施。
- ・お預かりする全児童の検温依頼。歳児に限らず、検温を保護者へ要請。37.5℃以上はご自宅で経過観察を行うと共に、呼吸器症状がみられる場合は、医療機関の受診を依頼。
- ・納品等で立ち入りする取引業者については、手指消毒を依頼し、検品が必要なものは所定の場所で行い、それ以外は可能な限りインターフォンにて対応。
- ・イベント、行事等の中止もしくは延期対応。

<本社本部支店>

- ・全従業員の出勤前の検温。厚生労働省から周知されている指針を基に、37.5℃以上の発熱がある場合は、出勤しないことを徹底。また、手洗い・うがい・手指消毒を実施。事務所内の清掃と消毒を強化し、こまめな換気を実施。
- ・臨時オフィスの活用。三密の回避のため福岡本社では、一時的に開講を自粛しているテノスクール（tenoSCHOOL）の教室を、臨時で執務室として開放。
- ・時差出勤、リモートワークを奨励。また、不要不急の打ち合わせや外出・出張等を自粛。オンライン会議を積極的に実施。打ち合わせをする際は、2mの距離を保つことを徹底。
- ・来訪者には、検温と手指消毒を依頼。

2020年12月期 通期業績の見通し

(単位：百万円)	20年12月期 (予想)	20年12月期 第1四半期	進捗率 (%)
売上高	10,767	2,634	24.5
営業利益	471	189	40.1
経常利益	446	186	41.9
純利益※	287	118	41.1

■公的保育事業及び受託保育事業における新規施設は予定通り開設見込み。

(公的保育事業)

認可保育所の開設は、合計4施設。4月に予定通り2施設開設済みであり、10月に2施設を開設予定。

(受託保育事業)

2020年4月に春日市学童保育所18施設を予定通り運営を開始。事業所内保育所は、4月に6施設の運営を開始。

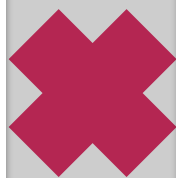
■COVID-19の業績に与える影響については、小学校の休校等の対応に関連して、各自治体と協議を進め学童保育所の受入れ体制を強化し、一時的に稼働が増加している状況。また一部の保育施設に関しては、自治体及びクライアントからの要請・指示等により休園を行っている施設もあるが、1Q決算時点において通期業績見通しの変更はなし。なお、2020年1Qにおける進捗率は、前年と同程度の進捗にて推移中。

■ただし、今後のCOVID-19の影響に関する動向については引き続き注視。

2020年12月期 ①公的保育事業の新規開設拡大

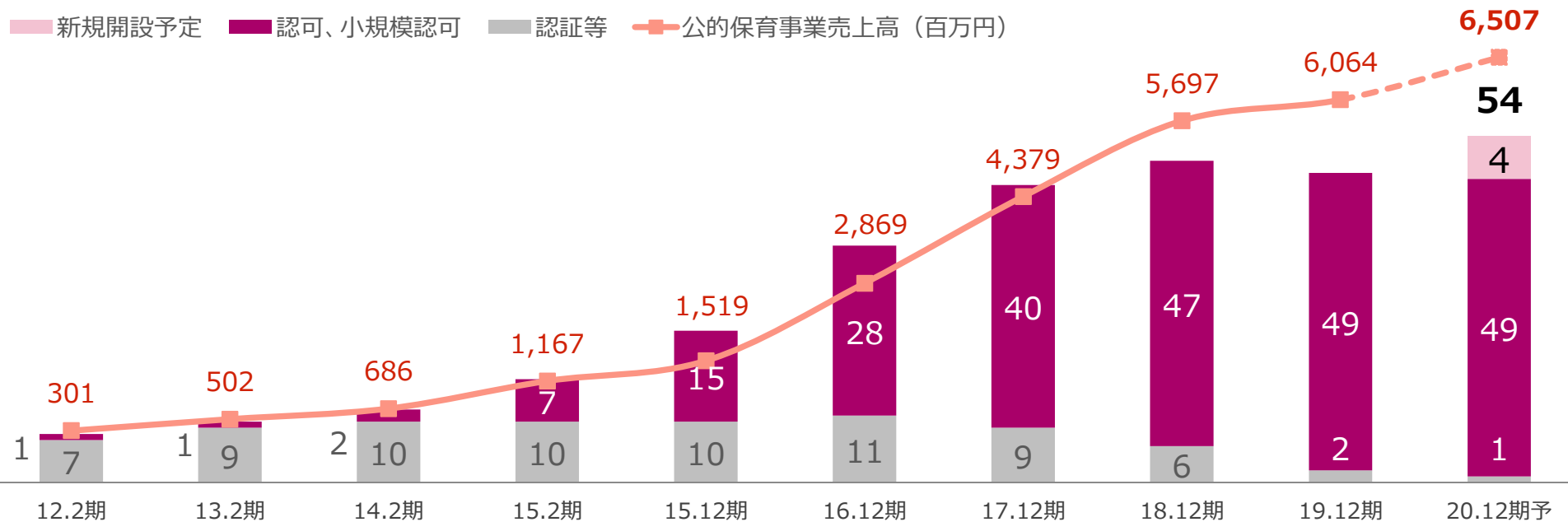
■ 積極的な補助金政策を採用する主要都市へ展開

- ◆ エリア：公共交通網沿線・駅近立地
 - **東京23区** 板橋区・中央区・新宿区
 - **首都圏** 神奈川・埼玉・千葉
 - **大阪・福岡**
- ◆ 待機児童数が多い地域、手厚い補助金のエリアをターゲットとし、採算性を重視



- ◆ エリア・沿線を絞り込む「面」展開
 - 人材確保と効率化の追求
- ◆ 開園数の確保
 - 情報ルート複線化・ノウハウ蓄積
 - 20/12期開園予定数4園（東京）

公的保育事業の売上高・施設数推移



2020年12月期 ②受託保育事業の新規受託拡大

■ 人手不足に悩む企業を中心とした保育所開設ニーズを発掘

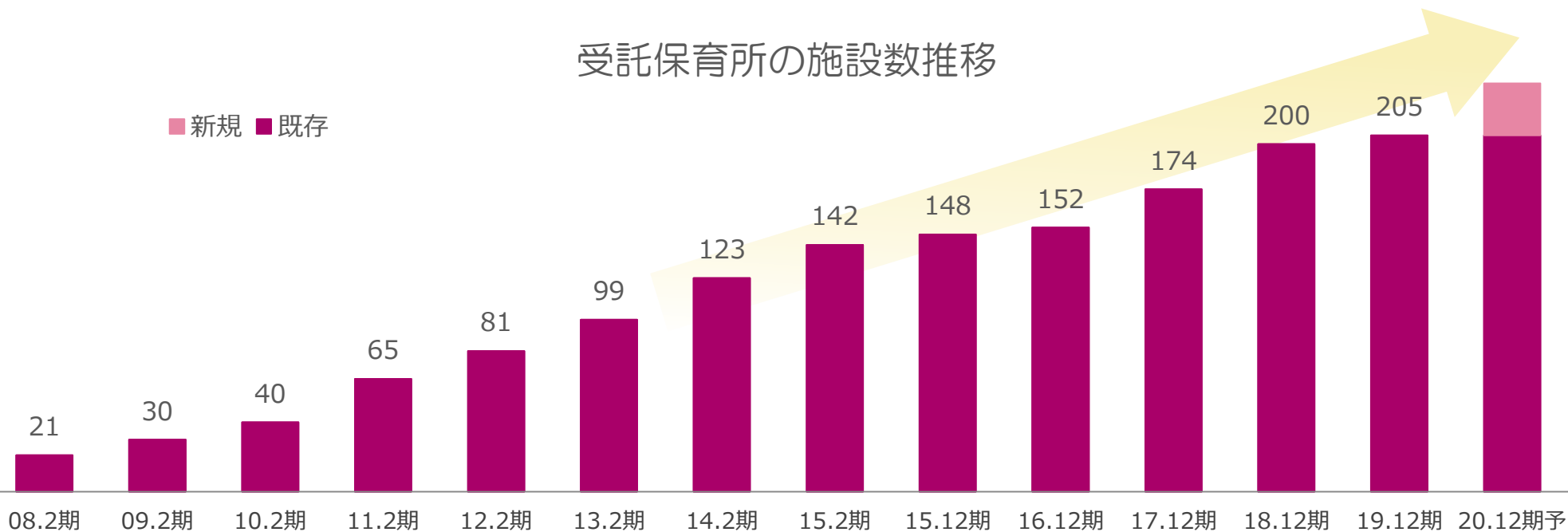
- ◆ 全国的に人材不足が深刻化する中、企業間の人材獲得競争が激化。
- ◆ 有能な女性を安定的に雇用するための手段として企業内保育所の開設ニーズは年々高まっている。
- ◆ 企業主導型保育所の施策を機に、受託保育ノウハウを有する当社への委託が急増。

—— 企業主導型保育事業 ——

2016年に施行した内閣府による子ども・子育て支援法に基づく仕事・子育て両立支援事業
企業の負担により、従業員の多様な働き方に応じた柔軟な事業所内保育を支援

受託保育所の施設数推移

■ 新規 ■ 既存



2020年12月期 収益性改善と質の向上（継続注力）

- 2019年12月期から取組んでいるコスト削減に注力し収益性向上を図る。
- 新規開設要因による影響をカバーすべく、高収益事業の強化に注力。

1

採用コストの削減

人材戦略

- **新卒採用の拡大（継続）**
- 派遣事業と紹介事業の強化（継続）
 - AIを活用した保育士紹介・採用サイトからの人材確保経路の確立
 - 当社を辞めていく人材もカバーすべく、データベースの構築を推進

2

高収益事業の強化

その他

- 働く女性のライフステージ全体を支援
 - ベビーシッターサービス、ハウスサービスのブラッシュアップ
 - ライフステージ関連事業の高収益性を維持しつつ、規模を拡大
 - 収益基盤拡大に向けた新規事業展開

3

人材の育成と生産性の向上

基盤強化

- 人材投資の拡大
 - テノスクールのノウハウを活かした研修等による人材育成や人事評価制度の見直しによる保育の質のさらなる向上と離職防止
 - 積極的なITの活用により働き方の改革を実現
 - E-ラーニングによる研修プログラムの構築

19.12期
営業利益率
4.8%

収益性の向上

「手の」ぬくもりまでも伝えたい

Ⅲ. 長期ビジョンと会社概要他

「 teno VISION 2030 」

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

働き手視点

- > 適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- > グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- > 客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- > 人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- > グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの
実現により、
選ばれる
企業集団へ

顧客・クライアント視点

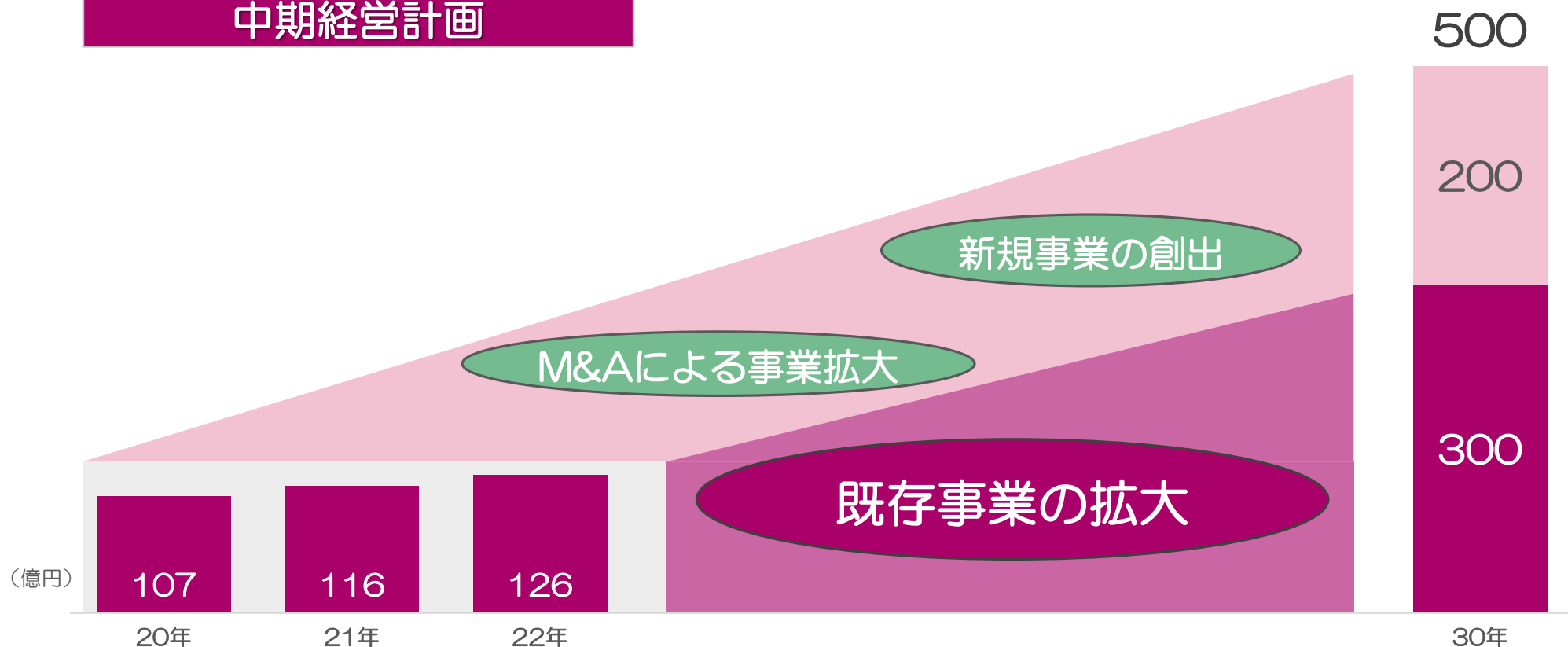
- > 便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- > 時代のニーズに合った付加価値の提供
- > テノ・グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- > 極めて透明な情報開示と財務の健全性
- > 対価に対するサービスレベルが適切である
- > 個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

中期経営計画（2020～2022）と長期ビジョン

- 2030年12月期、売上高500億円達成を目標に事業拡大に注力
（既存事業と新規事業の創出及びM&Aによる事業拡大によって、実現を目指す）

長期ビジョン「teno vision 2030」による事業拡大イメージ

中期経営計画



【理想像】
人材を持続的に確保・育成できる

会社概要・グループ概要

社名	株式会社テノ、ホールディングス 英文表記：teno. Holdings Company Limited
本社	福岡県福岡市博多区上呉服町10番10号 呉服町ビジネスセンター 5F
代表者	代表取締役社長 池内 比呂子
設立	2015年12月15日（創業 1999年7月5日）
従業員数	1,643名 (1,117名) [2019年12月末時点] ※従業員数は就業人員 ※臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員等を含む。）は、最近1年間の平均人員を（ ）外数で記載
事業内容	公的保育事業、受託保育事業、その他

(株)テノ、ホールディングス
(純粋持株会社)

teno
GROUP

100%



(株)テノ、コーポレーション
(連結子会社)

● 公的保育事業

- 認可保育所、小規模認可保育所、認証保育所の運営

100%



(株)テノ、サポート
(連結子会社)

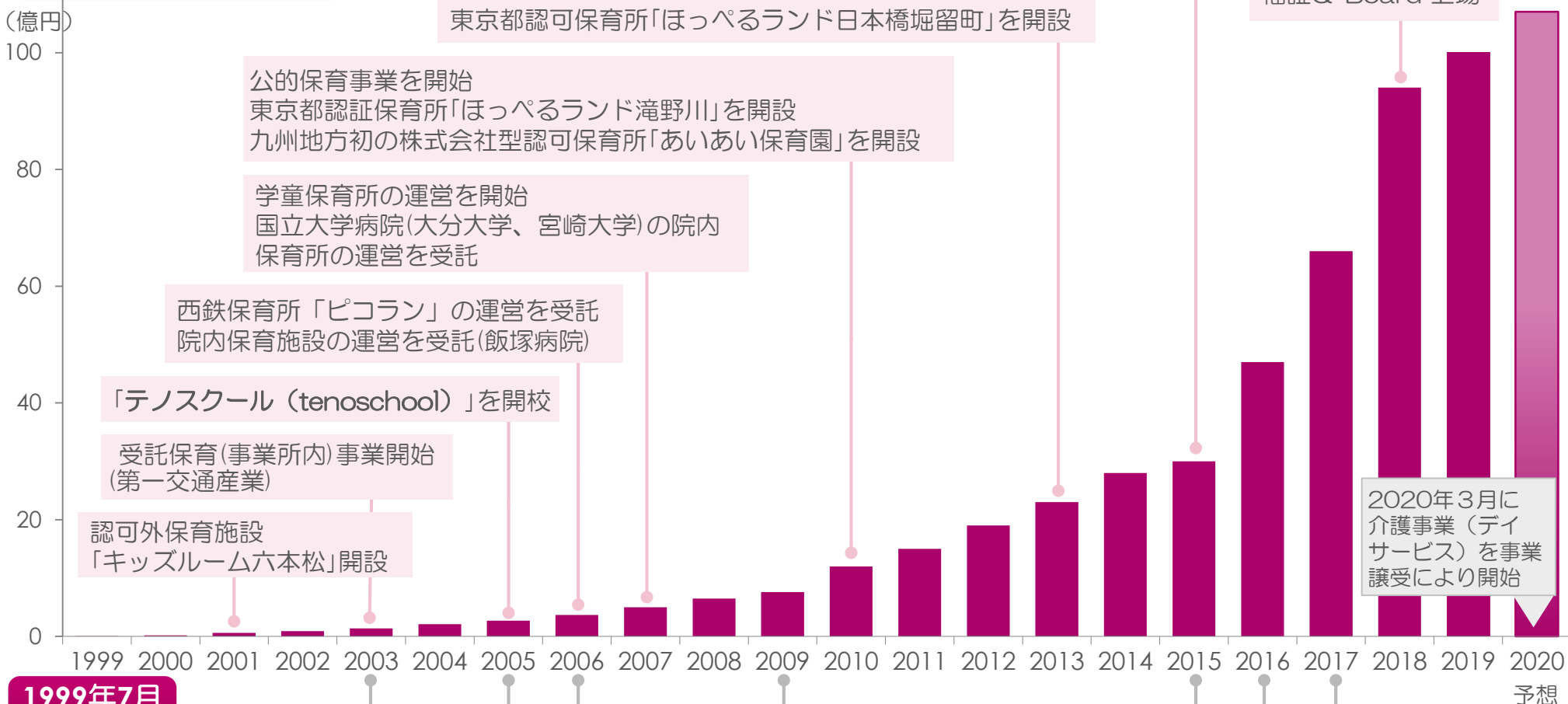
● 受託保育事業、その他

- 院内・事業所内保育所、学童保育所、わいわい広場の受託運営
- 保育人材の派遣・紹介、ハウスサービス、ベビーシッターサービス、テノスクール（tenoSCHOOL）、直営認可外保育施設の運営、小規模認可保育所（事業所内保育事業）の運営、介護施設（デイサービス）の運営等

沿革

■ ベビーシッターサービスやハウスサービスの提供で創業し、創業以来**20期連続**増収

売上高の推移



**1999年7月
設立**

労働者派遣事業資格取得
 商号を株式会社テノ・コーポレーションに変更
 沖縄支店を開設
 東京本部を開設
 大阪支店を開設
 株式会社テノ・サポート設立

ベビーシッターサービスやハウスサービスの提供を目的に、福岡県福岡市東区に有限会社ドワイトを設立

「株式会社テノ・ホールディングス（当社）」設立
 2015年度は、単体決算および決算期変更のため10ヶ月決算

【公的保育事業（売上高全体の60%程度を占める）】

■ 東京を中心に、福岡、大阪他に認可保育所・認証保育所を運営

全国展開の認可保育サービス
【ほっぺるランド】



35施設

※あいあい保育園を含む

認証等保育サービス
【ほっぺるランド】



1施設

小規模認可保育サービス
【ほっぺるランド】



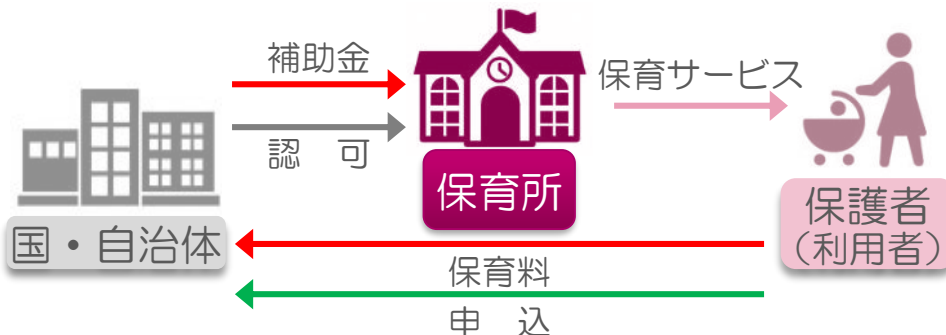
14施設

■ 「持つ」経営のビジネスモデル

設備投資負担があり経営の自由度が低い反面、長期安定収益が見込める事業

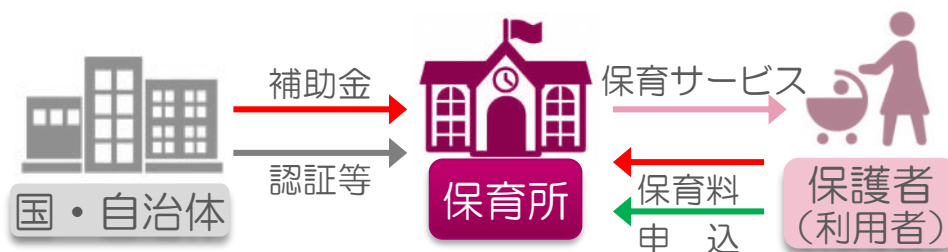
認可保育所

- 児童福祉法に基づき、厚生労働省が定めた認可設置基準の要件を満たした児童福祉施設
- 都道府県知事(政令指定都市については市長)が認可
- 国・自治体が園児の募集を行い保育料を徴収する



認証保育所

- 認可保育所以外の保育施設
- 認証保育所は、東京都が独自に定めた設置基準の要件を満たした施設

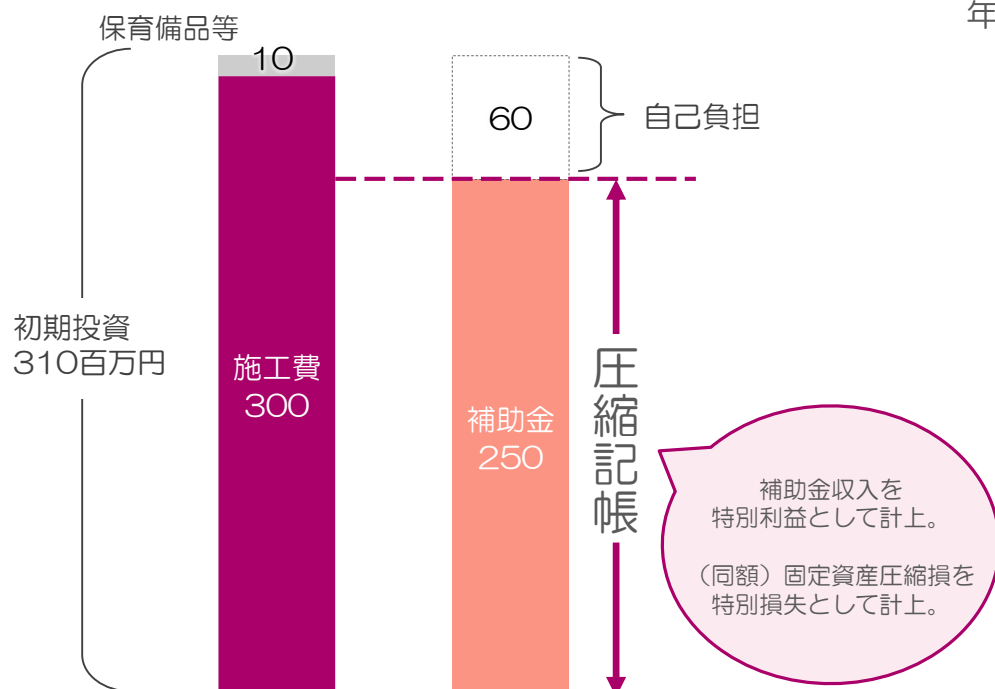


* 施設数は2020年3月末現在

公的保育事業の収益モデル

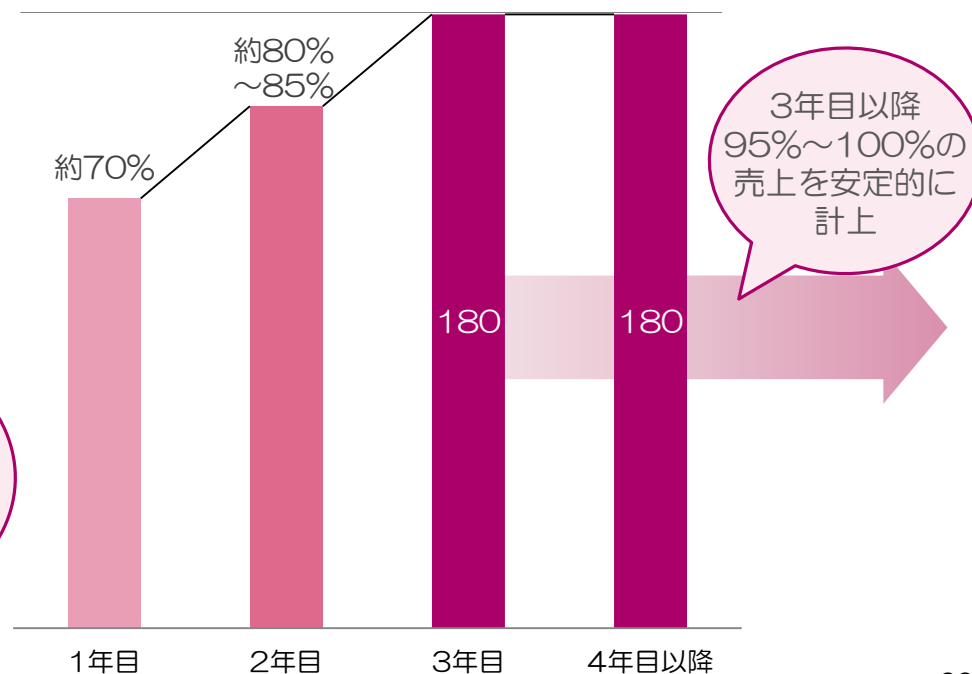
定員	100名程度
保育所運営スタッフ	園長1名、保育士12~14名、 看護師1名、調理師3名~4名、事務員1名
設備投資	あり

初期投資と当社負担のイメージ (百万円)



売上推移のイメージ (百万円)

年間の最大売上を180百万円と仮定



※初期投資及び売上推移は当社収益モデルをご理解を頂くためのイメージです。
実際の売上、費用、補助金等は地域、条件等により異なります。

【受託保育事業（売上高全体の35%程度を占める）】

■ 福岡を中心に受託保育所を運営

保育施設の企画・運営
【院内・事業所内 保育所】



138施設

放課後児童健全育成事業等
【学童保育所等】



64施設*

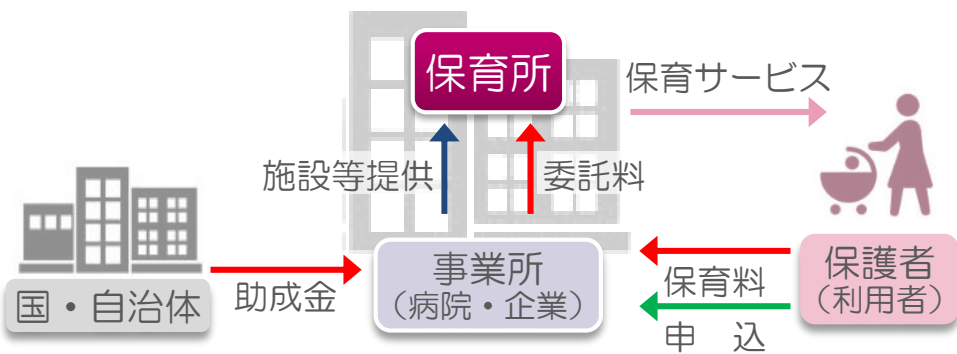
※わいわい広場を含む

■ 「持たざる」経営のビジネスモデル

単年度契約ではあるものの、経営の自由度および資本効率が高い（設備投資負担がない）事業

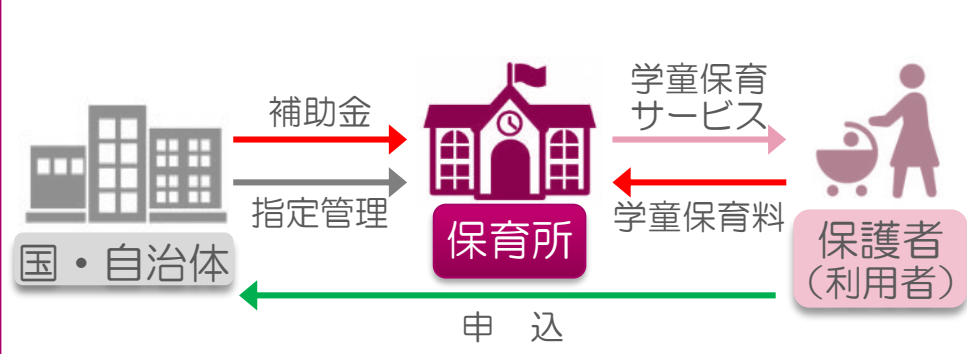
受託保育所

- 病院や企業等が事業所のなかで保育所を開設する際に運営を受託するもの



学童保育所

- 児童福祉法第6条の三第2項に基づき、各自治体より学童保育指定管理を受託し、運営



* 施設数は2020年3月末現在

受託保育所の収益モデル

定員	30名
保育所運営スタッフ	園長1名、保育士7名
設備投資	なし

受託保育所の契約形態



※年商、月商は当社収益モデルをご理解を頂くためのイメージです。
実際の売上、費用は契約、条件等により異なります。

【その他（売上高全体の5%程度を占める）】

■ 女性のライフステージ全体をサポート

🏠 家庭総合サービス

お子様のお世話いたします
ベビーシッターサービス



簡単なお掃除から家事全般まで
ハウスサービス



介護事業（デイサービス）

家庭総合サービスとして
介護サービス



2施設

🏫 人材育成サービス

保育系人材の育成講座
テノスクール(tenoSCHOOL)



保育・介護・看護人材を派遣
人材派遣サービス



都心部の保育所不足を解消
キッズルーム・テトテ他



5施設

免責事項およびご注意

- 本資料に掲載する情報は、弊社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。
- 本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。これらは、現在入手可能な情報に基づき、弊社の仮定及び判断に基づくものであり、今後の経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定が将来実現しない可能性があります。
- 本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 今後の新しい情報や将来の事業などの発生が生じたとしても、本資料に含まれる見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き必ずしも修正するとは限りません。

【お問合せ先】

株式会社テノ、ホールディングス

取締役管理本部長 吉野 晴彦

福岡県福岡市博多区上呉服町10-10呉服町ビジネスセンター5F

TEL : 092-263-3550 FAX : 092-263-3557

teno
HOLDINGS